

勇者汚染

滅ぼした魔王に身体を奪われる女勇者の物語



フルカラーコミック
63ページ

聖華快樂書店







様々な困難の末に魔王城に辿り着き
魔王との最終決戦に挑んだエレノア
そして、その決着はまもなくつこうとしていた

これで終わりよ——！！





クククッ……

よくぞ
よくぞ俺を殺してくれたな



感謝するぞ



なに
何を言ってるの？

負け惜しみにしても
もうちよっとマシなセリフを……

この秘術は死に際でしか使えないからな……

お前のお陰で俺の計画は完成したのだ！





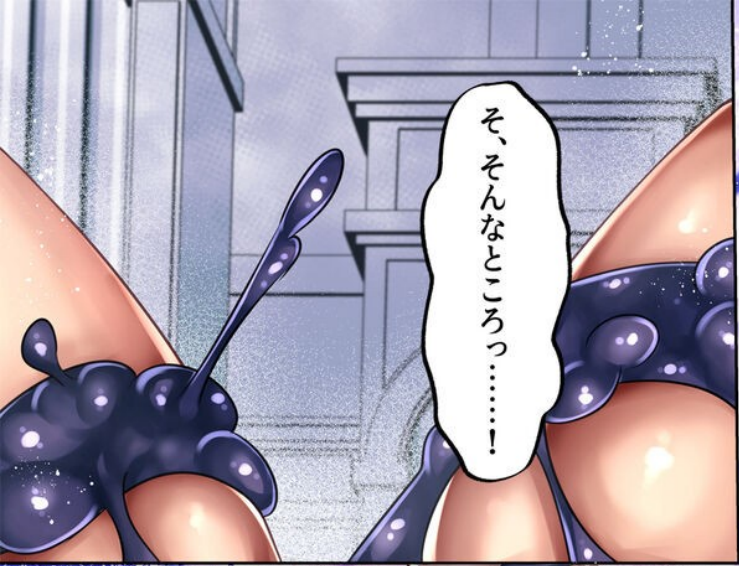
おんおんおんおん

まだ抵抗する気!?

い、いやっ……!
や、やめてっ……!

離れな、さっ……!!

なっ!?!
姿が変わった!?!





おっ、おっばい、やめっ……!

ひあああああんっ!

ずっと
ずっとこの時を待ち望んでいたんだ
エレノアよ

よ
鎧も服も溶かされっ……!

こ、こんなのっ……!
あああああんっ!

ま魔王っ……!
どういう事!?



俺はお前と会ったその時から
どんどんお前の事が愛おしくなっていっていったのだ

はあっ……!!?

お前の全てが欲しいのだ
エレノアよ

あっ、いや、それはっ……!!

お前を全身で感じたい
お前を愛したい

いやああああっ!

遂に
遂に一つになれたな、エレノアよ!
俺の愛を感じてくれ!

ひああああんっ!
やつ、やめ、なさいっ……!

こ、こんなのっ……!
んあああっ!

ああっ
最高だ!

お前の膣はこんなにも締まるんだな!

嬉しいぞ、エレノア
お前も感じてくれるのだな!

んあっ

ふあああっ!

くっ

んああああっ!

ならば
もっと感じてみせてやろうっ!





ひぐうううううう
おっ、おひりいっ

ああ
エレノア

可愛いぞ!

尻を犯されて
そんなにかいのか!?

ここんな所、
気持ち、

いい訳っ……!!

んあああつ

そうか
俺に犯されているのが嬉しいのだな

安心しろ
俺がお前の尻も開発してやる!



ち
違ううううう!!



くうづづづづづづづづづづ!

イツ

ダメっ……!!

もうっ

ああああっ!!

あっ

あっ

あっ

最高だ
なんと美しく淫らなのだ……!!

ああ
夢にまで見たエレノアのイキ顔……!!



わ、私っ……
魔王に

こんなスライムにイカされっ……



嬉しいぞ、エレノア
さあ、最後の仕上げだ

完全に一つになろう
永遠に愛し合おうぞ





これからは俺が……



おお
これがエレノアの体……

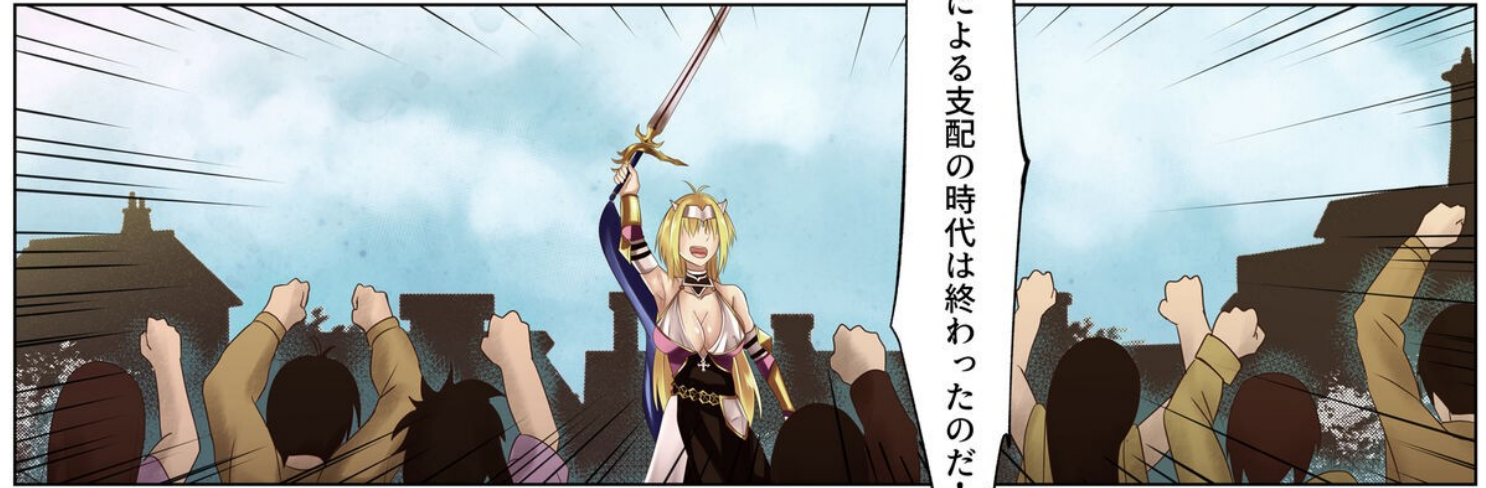
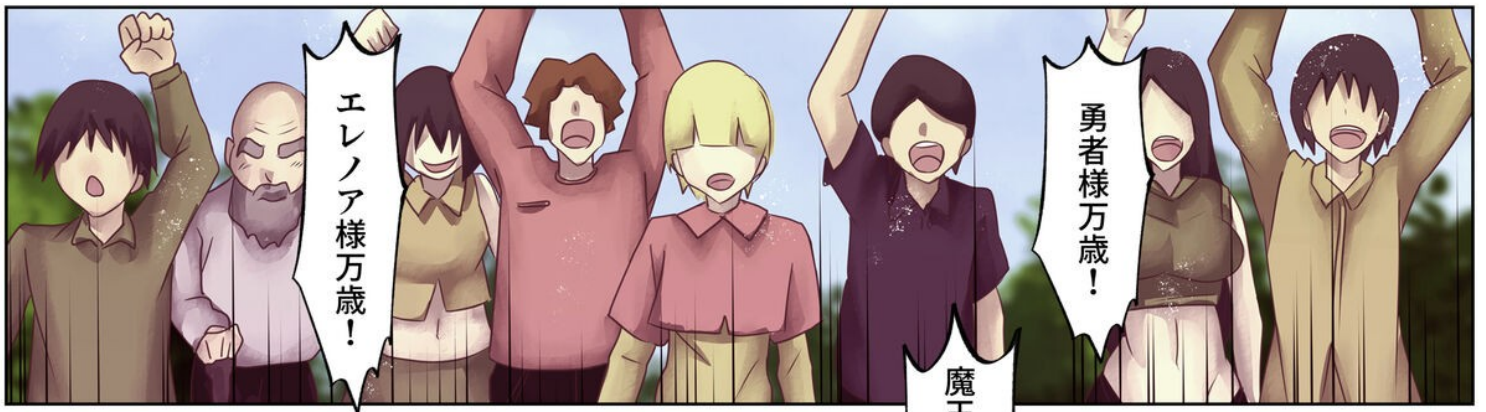
なんと美しく
素晴らしい体なんだ

以前の男の体でいたのが馬鹿らしくなる……



いや
私がエレノアとして生きていこう
この理想の体でな

クククツ
ふはははははは！



ふふっ
そうですね
エレノア様

わたくしはあなたが
魔王討伐の大業を成し遂げると
信じていました

あなたを魔物達から助けた時も
そう言ってくれたわね

……ありがとう

ティア
あなたのお陰で今まで戦えたのだと思う

まあ
嬉しい……!

わたくしがあなたの助けになれていただなんて

当然じゃない
勇者は一人では戦えない
あなたの応援が力になったのよ

よし旧知の仲である
この聖女とも違和感なく話せているな

記憶の同化も完璧だ

お祭り騒ぎでさぞお疲れでしょう
ここにはわたくしと数名の神官しかいません

ゆっくりと休まれてください

ええ
そうさせてもらうわ



ええっ
悪いわ

あなたもゆっくりして



よければマッサージなど
させていただけましょうか？



部屋に戻っているわ
何かあったらまた呼んで

ええ
わかりました
またお邪魔しますね

しかし
ここで無碍にする訳にもいかないな……

なんだこの女は？



ひうああっ!!?

うふっ
可愛いお声♪

少しぐらいいいじゃありませんか



んああっ……!!

すごいっ
これっ……!!

んっ

ふっ

女の体での
オナニー!!

さっきは変な女に絡まれたが
人に触られるより
自分でする方がずっといい

あのエレノアの体を思う存分楽しみ
しかもそれで性感を得られるのだからな

あああんっ!

おっぱいもっ!

あっ

あっ

好きっ……!!

最高っ……!!
クリも

好きいいいっ……!!



はああんっ!

いいのおっ!

もっと

もっと感じたいいいいっ!

んっ

ふっ

あああっ!

大好きっ!

好きっ

好きっ!

女の体
やめられないいいいっ!

最高〜っ!

いっ



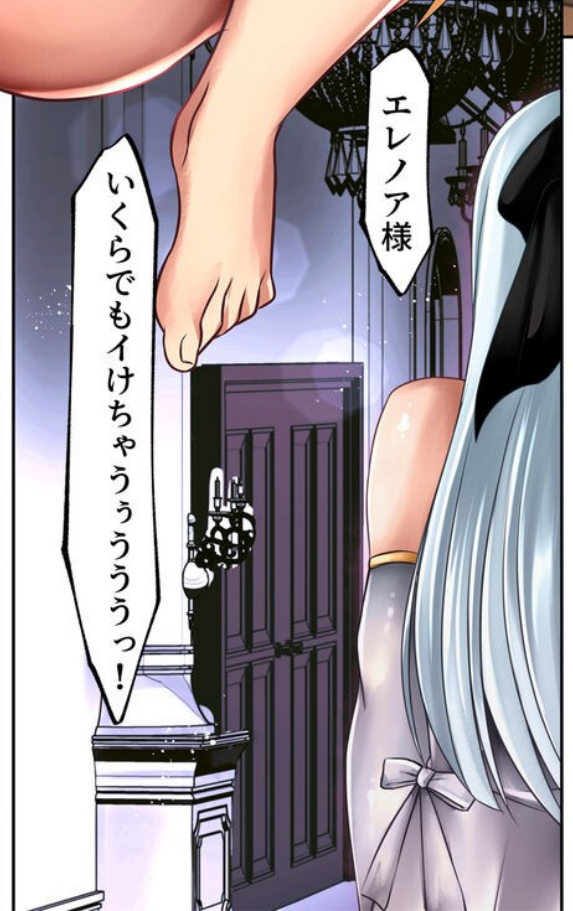
ティ…
ティア!?

ちょっと待って……!



エレノア様
少しいいですか?

えっ!?



エレノア様

いくらでもイけちゃううううっ!



まあ
エレノア様ったら
はしたない♪



その…
しばらくできてなかったから

溜まってて……!



こ…
これは違うのっ……!!



こんなに濡れ濡れで本当にエッチなエレノア様♪
こういう事が好きだったんですね♪

ふああああっ!?



うふふっ
そうですね

エレノア様も人の子
性欲は溜まりますものね





だ

だから

違うのおおっ……!!

ふあああんっ!

何が違うんですか?
おっぱいもクリトリスも♪

ああんっ!

あっ

こんなに敏感で
とってもエッチな体をしていますよ

ああああっ!

あっ



ひあああんっ!?

嘘っ
やめてえええっ!

それ

感じ過ぎちゃうううううっ!

ま
まずい

この女……!

自分でやるより数倍気持ちいいっ……!!
なんで聖女のくせにこんなに手慣れているんだ!?

んむちゅっ

ちゅっ

ちゅぱっ

美味しいです

ちゅじゅるうううっ!

エレノア様♪



ひああああんっ!

イッ
イッ
イッ
ちゃうううう!

やめてえっ

ティアあああああ!

うふふっ
オナニーなんかよりずっといいでしょう？

ふふふふっ……!!

よくも私を弄んでくれたわね
ティア

なっ!!

その姿は……!!

たっぷりとお返ししてあげるわ

このクリチンポでね

う
嘘っ……

そんな
まるでおちんぼ……





ふっ
くううううっ!!

ほら
出すわよっ!!

ひやああああんっ!!

くろくろくろ!!

イツちやうううううううっ!!



すっすっすっ!!

エレノア様との
おちんぼせつくしゅうううううううっ!!

ふうっ
これでどっちが上かわかったでしょう?

はあ

はあ

はあっ……

エレノア様あっ……



う
うふふっ

あなたの精液をいただいて
全てわかりました

勇者様は
魔王様になっていたのですね♪



淫乱聖女に似合ういい姿じゃない？

そ、そうか
魔王としての力が入った精液を出したから
魔物化したのね

もっと
もっとエッチしたいですうううっ！

エレノア様っ！



この女
サキユバスになって
より体の具合も技術も上がっている……！

好きっ
大好き

魔物セックス
最高ですううううっ！

はっ
はっ

はぁぁぁんっ！

ぁぁぁんっ！

魔物なら魔王に従いなさっ……！

ちよ
ちよっ

ふぁぁぁんっ！

エレノア様あぁっ!

わたくし
嬉しいです!

あなたに魔物にしていただけで!

ひっ
うううんっ!

ティ
ティア

それならもっと落ちて着いて

ダメです♪
こんな気持ちいいセックス
やめられません!

ふああああ!
エレノア様あぁあぁっ!

聖女のくせに
ここまでサキュバスの適正が高いなんて……!!

ふっ
んあぁっ!

ううっ!

ひっ

くううううっ!

これええっ!

クリちゃんぽおっ!

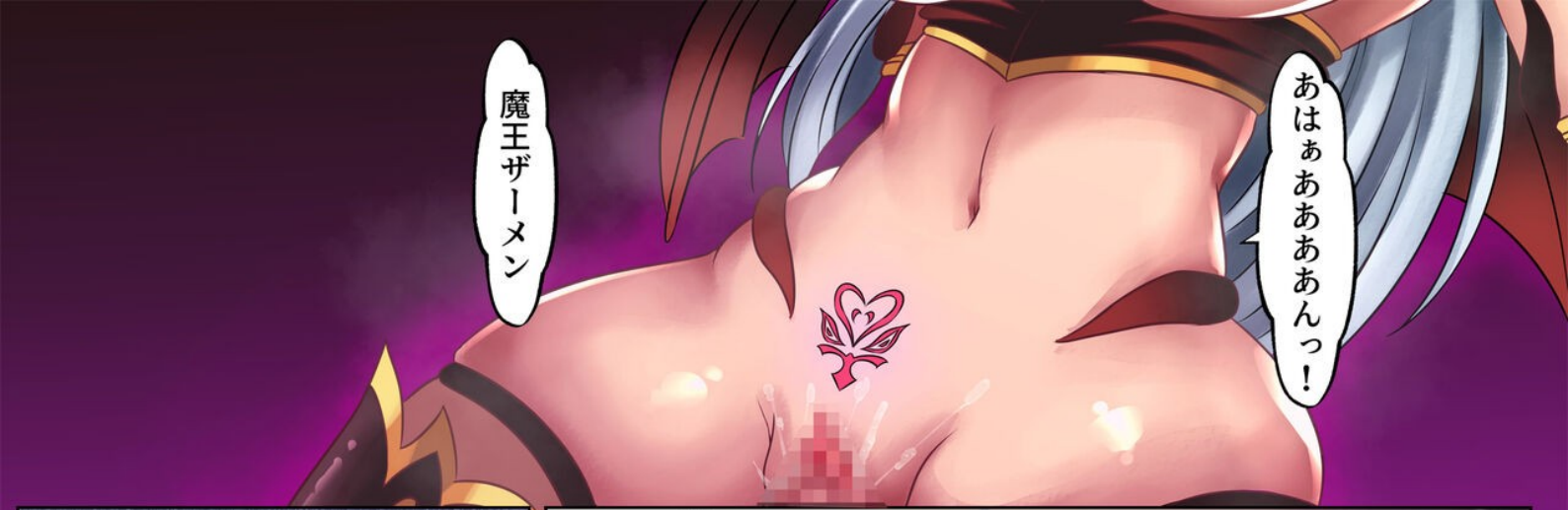
最高ですううううっ!

だあっ

だめ
だめえええっ……!!

搾り
取られるっ!

くううううっ!



あはあああああんっ!

魔王ザーメン



このっ
エロサキユバス……♪

はあーっ

はあー

はああんっ!



またきたああああんっ!

あなた様の精子でわたくし
もつとエッチになっちゃいます♪



はい♪
もつといっぱい
わたくしを使ってください
魔王様♪



こんなに具合のいいおまんこ
もつと使わないと損よね♪



うふふっ
聖女なのにこんなにエッチでごめんなさい♪



あはあんっ!

やっぱりこのちんぽ
大好きです♪

何度でもあなたのおまんこ
使わせてもらおうわよ

んっ
ふああっ……!



ふああああんっ!

好き
好きいいいっ!

大好きですううっ!

もう勇者じゃなくて魔王なのに
それでもいいの?

だってわたくしもう
聖女じゃなくてサキユバスなんですから♪

はい♪

ふふっ
そうね

あなたは私の側近兼
愛人として迎え入れるわ

はひっ
んっ

嬉しすぎて
イッちゃいます

んああっ……!

エレノア様♪

ねえ
ティア
私たち
いつまでも友達で……
恋人よね

ええ
もちろんです

何があっても
あなたと一緒にいたいのです……♪

私がもう勇者じゃなくて
魔王でも？

はい
わたくしはエレノア様のおちんぼに
恋してしまったのですから♪

うっ
ふふふっ……

そう
そうよね
ティア

いつまでだって一緒にいましょう

たとえ
この世界にわたくしだけしかいなくなっても



さて
淫魔ユースティア
始めましょうか

はい
魔王様♪

これより
地上界の侵略を開始する
以前のように人間を殺し

土地や物資を奪う侵略ではない
我々の目的は――



人間を捕らえ
我々魔王軍の性奴隷として使うこと

うおおおおおおお！

捕らえた人間は好きなように犯し
飼育なさい！



うおおおおおおお！







